

レンゲ沼自然探勝路周辺のヘイケボタルならびに

■ 調査の目的

本調査は、今季レンゲ沼自然探勝路周辺における、ヘイケボタル*Luciola lateralis Motschulsky* 並びに ゲンジボタル*Luciola cruciata Motschulsky*の成虫の出現状況を明らかにすることを目的とする。

■ 調査の方法

当該種の出現が予想される7月～8月、毎週水曜日、およそ20時～20時半にかけて、天候に関わらず現地に赴き、徒歩で目視によって、その出現数をカウントした。

ヘイケボタル、ゲンジボタルの識別は主に、光り方(点滅の間隔)が異なることに基づいて判断した。また生息環境の違い(止水か流水があるか)も考慮した。

気温は、県道2号線沿い剣ヶ峰ペンションエリアの街路温度計の数値を記録した。

空間放射線量は、裏磐梯サイトステーション横の観測機の表示を記録した。

■ 調査地

レンゲ沼自然探勝路+中瀬沼自然探勝路へ向かうハンノキ林の木道(10m程度)を、裏磐梯サイトステーションを起点に、反時計回りに周回する(以下の<図1.>に示す)。

なお、今夏の渇水状況について考察で述べているが、実際の状況について、調査期間中2018/7/11の昼間に撮影した現地の写真も付記する。

<図1.調査地>



■調査者

高橋千帆（NPO裏磐梯エコツーリズム協会会員、(公財)日本自然保護協会会員・自然観察指導員）

■調査結果

2018年7月3日～8月22日の毎水曜、計8回実施し、その結果は以下のく表1.>に示す。

表1. ヘイケボタル並びにゲンジボタルの成虫の出現数

調査年月日	天候	風 空間放射線量(μ Sv/h)	気温(℃)	時間	ヘイケ ボタル	ゲンジ ボタル	備考
2018/7/3	雨 →少雨	なし 0.107	24	20:00 ～ 20:25	0	0	・生息地にほぼ水無し
2018/7/11	曇り→ 一時強い雨 →小雨→止 む	なし→微風 --	22	20:00 ～ 20:30	4	0	・生息地にほぼ水無し
2018/7/18	晴れ	なし --	20	20:10 ～ 20:45	31	0	・生息地にほぼ水無し ・三日月夜
2018/7/25	薄曇り	微風 0.112	26	20:00 ～ 20:35	50	0	・生息地にほぼ水無し ・薄い雲が広がるが、木星や 一等星が見える。満月になり つつある為、明るい。
2018/8/1	晴れ	なし 0.111	26	19:55 ～ 20:25	15	0	・生息地にほぼ水無し ・月の出が遅く暗い
2018/8/8	小雨→雨 →止む	微風 0.108	24	19:50 ～ 20:20	6	0	・生息地にほぼ水無し ・真っ暗。台風13号、日本 列島を北上中。
2018/8/15	雨上がり曇り →雷+少雨	微風 0.112	24	20:15 ～ 20:40	2	0	・生息地にほぼ水無し
2018/8/22	晴れ	なし 0.109	26	19:50 ～ 20:20	1	0	・生息地にほぼ水無し ・星月夜で林内が明るい

■考察

平成30(2018)年は雪解けが早く、桜の開花も例年より10～14日程度早まり、そのまま季節が早く進む状況であった。梅雨明けも早く、降雨が極端に少ない状況で渇水の夏を迎えた(会津地方はじめ福島県内各ダム湖で取水制限が行われた)。レンゲ沼自然探勝路周辺の湿地にも水が非常に少なく、アシ原の地面が渇いているような場所もあった。毎年、クロサンショウウオやモリアオガエルの産卵が見られる小さな水のたまり場は干上がっていた。レンゲ沼自然探勝路から中瀬沼自然探勝路へ向かう木道のあるハンノキ林床(湿地)に流れていた水が見られなくなっていた。調査期間中、降雨があったものの状況は変わらなかった。

このような渇水の状況から、当該ホタルの出現への悪影響が懸念されたが、結果として、ヘイケボタルについては最大50個体が観察された。一方ゲンジボタルについては全く観察されなかった。

平成21(2009)～平成24(2012)年度の調査結果(裏磐梯エコツーリズム協会「モニタリング報告書」調査者:高橋真希氏)と比較すると、ヘイケボタルについては、年毎に多少の変化はみられるが、この4年間の調査記録と大きな差は生じていないと考えられる。ゲンジボタルについては、平成21(2009)、22(2010)年度には20、16が記録されているが、平成23(2011)、24(2012)年度には0、1という結果であり、回復に至っていないものと考えられる。しかしながら、平成25(2013)～平成29(2017)年度の6年間は、本調査が実施されていない為、安易に「当該地域からゲンジボタルがいなくなった」「当該地域がゲンジボタルの生息に適さない環境に変化した」と結論付けるのは躊躇われる。今後も継続した出現数データの蓄積が必要であるとする。

なお、裏磐梯の別の地域(本調査地よりも標高がやや低い)では、6月末～7月中旬にかけてゲンジボタルが多数、ヘイケボタルは少数、出現していたことを記しておく。

以上